



Eiche

# Die Eiche ティ・アイエ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in der Präfektur Chiba

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町 2-681 ワールドナースィングホーム内

Phone: 047-467-6111 Fax: 047-467-6123

## 2007 年年次総会開催

講演するゲーリック文化部長



全員で記念写真



平成19年5月19日(土)14:30・於西船フロア 29名  
本年の年次総会は昨年と同様、西船フロアにて開催された。新任の松崎事務局長の司会で綿貫尚理事を議長に選出、平成18年度事業報告、決算報告、平成19年度事業計画案・および予算案は提案どおり承認された。本年のトピックは、当協会とドイツ・デュッセルドルフの独日協会、アム・ニーダーラインとの間で「学生交流」の計画があること。事業の実施は来年度以降であるが、これまでの経緯、事業の大綱について平尾浩三会長、橋口昭八常任理事より説明があり、「学生交流」の実現を前提に、今後先方と具体的な検討に入ること、総会での承認が得られた。(概要裏面)

引き続き下記の役員人事の変更が承認された。

常任理事・行事総括：小野浩氏

常任理事・財務担当：坂本宗秋氏

常任理事・事務局長：松崎寛記氏

総会後の記念講演は、在日独連邦共和国大使館参事官・文化部長のハラルド・ゲーリック氏にお願いした。終了後、別室で懇親会が行われ、ゲーリック氏夫人のご挨拶、新入会員の紹介などがあり、17時30分閉会。

### 日独関係と日独協会の役割

ドイツ連邦共和国大使館

文化部長 ハロルド・ゲーリック

本日、貴千葉県日独協会の総会で講演する機会を頂戴し、大変嬉しく思います。

先ず昨年十一月と十二月に大使館で開催された千葉県の展示会では、皆様にご尽力いただきましたが、これは大使館で開催された最初の展示会の一つで、堂本知事のご訪問という格別の榮譽に浴したものです。他にも茨城、群馬の展示会が開催され、群馬展では中曽根康弘元首相のご臨席を賜りました。これらの展示会は、大使館が「ドイツ年」の経験から考案した新企画の一部で、各都道府県の人々、機関を大使館に「持込み」、各地の人々や機関との対話を促進するものですが、今後は大使館が各都道府県に「出向き」、現地で「ドイツデー」を開催することも考慮中です。そして、これらの活動は若い世代を主な対象としており、日独が経済大国として直面する問題を解決すべく若い世代の関心を引き起こし、今後の責任の担い手とするのが中心課題であります。

昨年六月に終了した「ドイツ年」では、第一級の行事を含む合計約一七五〇もの事業が行われ、これは他国では例がなく、現代ドイツの持つ文化的な豊かさ、能力が日本の若者にとって魅力的なものであることを実証しました。

その成果を二つ紹介すると、まず二〇〇六年四月開催の環境会議で、ドイツからヴァイツェッカー教授が出席、トリア大学の環境課程・マテリアル・フロー・マネジメントがそっくり別府の大学で導入されたこと、二つ目は、二〇〇〇年に設立された東大のドイツ・ヨーロッパ研究センターに修士課程が創設され、ドイツ学術交流会 (DAAD) により海外機関として初めて襖門賞を授与されたことです。

(裏へ)

